

プロジェクト発足の目的と体制

2007年、THKは初めてCSRレポートを発行いたしました。このレポートを最初に見たとき、「これは良いものが出来たな」と思いました。と申しますのも、THKは「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」という経営理念のもと、創業時より本業を通じた社会への貢献を念頭に事業活動を行ってまいりました。これこそがCSR活動であり、「企業価値を高め、利益を出して社会に貢献し、社員を幸福にする」という企業経営の理想にそのまま結びついているのだと再認識できたからです。と同時に手放して喜んでばかりはいられません。THKはCSRに関し各部門ではそれなりに活動はしているものの、全社的な数値目標・方針が見られないという弱い部分が露呈したからです。

CSR活動の最も大きいテーマは、環境対策であると考えます。企業が作業環境を整備し生産効率を上げることが、結果的には環境対策となり利益を生むと考えれば、それに対し積極的・具体的な取り組みを進める必要があります。THKにおいても環境活動の評価基準を明確にし、各部門の業績評価に結びつける仕組みが必要です。

また、もう一つの大きなテーマであるコンプライアンスの遵守は、利益優先主義に走ることをしないようTHK全社として取り組んでいくことが大切です。

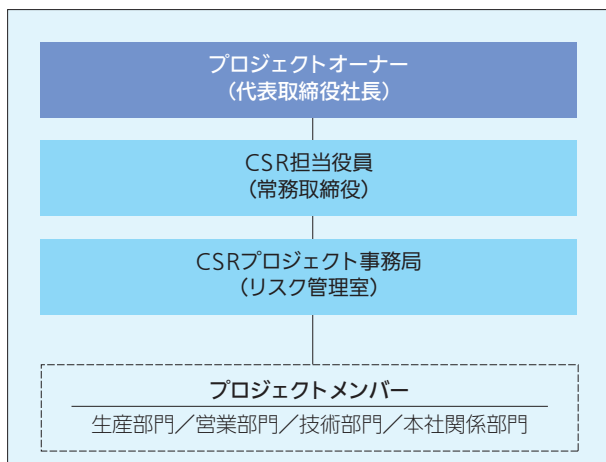
そこで、THKは本業を通じたCSRを追い求めていこうという目的で「CSRプロジェクト」を発足させました。プロジェクトは生産、営業、技術、本社関係等の各部門の業務に精通した13名のメンバーで構成されています。プロジェクトでは、メンバーがCSR活動で取り組むべきテーマを12項目に分類し、それぞれの推進計画を作成(P)、その後全員で実行(D)、チェック(C)、行動(A)、を回し、随時ミーティングにおいて状況報告を行っていきます。THK社員一人ひとりがこの活動の意義、併せて社員の幸福につながるということを理解し、活動することを期待します。

CSR活動はコストではなく、将来への投資です。CSR活動を前向きな活動にして企業価値を高め、社会貢献していきたいと思えます。



THK株式会社
CSR担当役員 常務取締役
白井 武樹

■ CSRプロジェクト体制図



■ CSR 12テーマ

- | | |
|--------------|----------|
| ①コーポレートガバナンス | ⑦社会貢献 |
| ②コンプライアンス | ⑧情報開示 |
| ③リスクマネジメント | ⑨品質・製品安全 |
| ④情報セキュリティ | ⑩労働安全衛生 |
| ⑤個人情報保護 | ⑪雇用 |
| ⑥環境 | ⑫人権 |